

取扱補足説明書

Ver3.1

このたびは、タイマー（ST-301S）用、床下漏水センサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

1.安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容が無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。

警告

- 修理・分解・改造をしないでください。
- 水（純水は除く）以外の用途には使用しないでください。

注意

- 電極に油など付着しないようにしてください。
- センサーケーブルを換気扇以外の強電回路ケーブルと並走させたり交差させたりしないでください。

- 次の場所には設置しないでください。
 - 水滴が当たる場所
 - 振動や衝撃が激しい場所
 - 金属片や粉塵が多い場所
 - 高温多湿になる場所
 - 温度変化が激しい場所
 - 電気ノイズが強い場所
 - 亜硫酸ガスやアンモニアなど腐食性ガスのある場所

2.製品概要

床下の水漏れしそうな所に設置し、タイマーに接続することで5秒以上連続での床下漏水時（4つの電極が水没時）に、タイマーに異常警報し、出力を停止します。

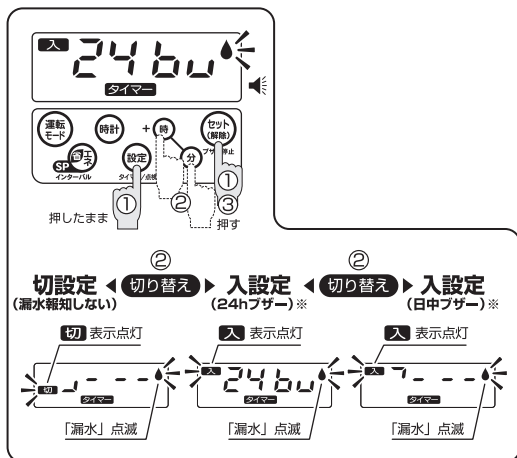
3.漏水検知の設定

- タイマー本体の漏水センサー入力端子に床下漏水センサーを接続すると自動で判別しタイマー液晶に「漏水」マークが点灯します。

【漏水検知及びブザー発報の設定】 （初期値：24hブザー）

- ①： **設定** ボタンを押したまま **セット（解除）** ボタンを5又は7回押して右図の表示にします。
- ②： 日中のみブザー **入** にする場合 **＋時** を押します。
漏水検知を **切** にする場合 **－分** を押します。
- ③： **セット（解除）** ボタンを押して設定を完了します。

※「24hブザー」は漏水検知時いつでもブザーが鳴ります。
「日中ブザー」は9：00～21：00の間ブザーが鳴ります。
※ブザーは検知時と時刻00分時に5分間発音します。（3日間）

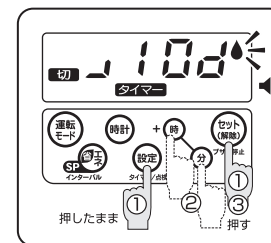


【漏水検知開始日時の設定】（初期値：直ちに検知する）

- 床下へ薬剤散布時に薬剤で誤動作しないように10日間漏水検知のみ一時中断しその後、自動で漏水検知を開始します。
※薬剤散布時は漏水センサーに薬剤がかからない様にカバー等を被せてください。

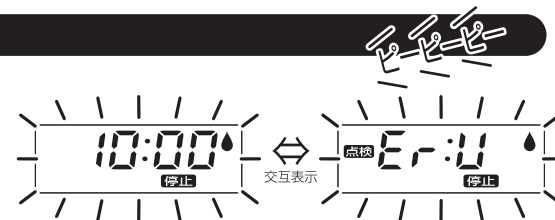
- ①： **設定** ボタンを押したまま **セット（解除）** ボタンを6又は8回押して右図の表示にします。
- ②： 10日後に漏水検知を開始する場合 **＋時** を押します。
直ちに漏水検知を開始する場合 **－分** を押します。
- ③： **セット（解除）** ボタンを押して設定を完了します。

※10日後に漏水検知開始設定をした場合、
「漏水」マークは10日間2回点滅表示します。
※10日後に漏水検知開始設定をした場合、10日後のタイマー入時刻より漏水の検知を開始します。



4.漏水検出動作

【異常検出時】タイマー（ST-301S）のブザーが鳴り、運転ランプが点滅し液晶表示 **点検** + **Er:U** と時刻が交互表示します。また、モードが **停止** になり、出力（換気扇）を停止します。

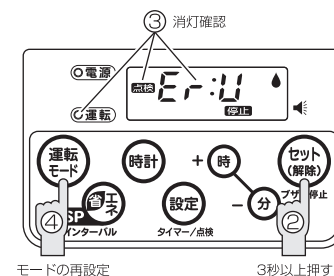


【異常警報の解除手順】

- ①：解除する前に水漏れなどが解消されているかご確認ください。
- ②： **セット（解除）** ボタンを3秒以上長押ししてください。
- ③：ブザーと運転ランプ点滅と液晶表示 **点検** + **Er:U** が消灯します。
- ④：異常警報前のモードに再設定します。（通常はタイマー運転）
※ブザー音のみ解除する場合はセットボタンを押してください。

注意

水漏れなど異常が残っている状態で解除しても、再度異常表示をします。水漏れなど異常が残っている状態で解除した場合、配電盤の漏電ブレーカーが作動する場合があります。

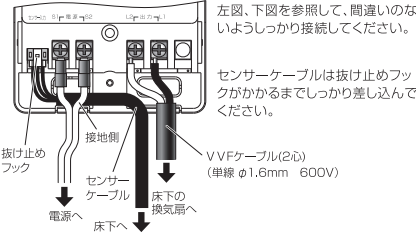


裏面に続く➡

5.設置方法

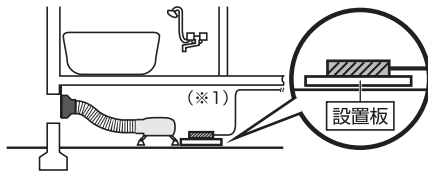
確認：タイマーの電源配線の接地側が、タイマーの反スイッチ側（S2側）になっていることを確認してください。

- 1：タイマーの入力端子に床下漏水センサーのコネクタをカチッと音がするまでしっかり差し込みます。
（※1）センサーケーブルは地面に敷設せず、木部等にナイロンクランプ等で吊り配線してください。
- 2：床下漏水センサーを水漏れしそうな所（台所・風呂場付近の床下）や換気扇付近に付属の設置板（75×75mm）を必ず敷き、電極を下にして設置します。



注 意

- 床下漏水センサーが水漏れを検出したあと、水分が蒸発すれば復帰しますが、水の中に導電性・撥水性の汚染物質などが溶解している場合は正常に復帰しない場合があります。
- 接続コネクタ部は水濡れ厳禁
※水濡れすると誤検知する場合があります。



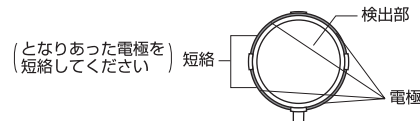
下記の内容に注意して設置してください。検出感度や正常な動作に影響を与えます。



- 3：動作確認をする場合は次のような方法があります。

- 1：電極を短絡させる（右図を参照してください）
- 2：床下漏水センサーの4つの電極を水没させる。

（確認後は検出部及び周辺の水分がないことを確認してください。）
※5秒以上短絡または浸水させてください。



6.仕 様

使用周囲温度	－10℃～50℃（氷結なきこと）	ケーブルの長さ	約 10 m
使用周囲湿度	95 %Rh（結露なきこと）	質 量	約 350 g
検出感度レベル	42 kΩ以下	センサーサイズ	φ48×14 (mm)

7.故障かなと思ったら

現 象	原 因	処 置
水漏れていないのに異常警報する	導電性のゴミや金属片が付着している	センサーに付着しているものを取り除いてください
	結露している	設置場所を変更してください
	電極が地面に接触している	正しく設置してください（設置方法を参照してください）
	コネクタ部が水漏れしている	コネクタ部を防滴処理してください
水漏れしているのに異常警報しない	落雷があった	誤動作の為、セットボタン長押し解除してください
	油などが付着している	センサーに付着しているものを取り除いてください
	断線している	床下漏水センサーを交換してください

memo